

札教生第 8155 号

令和 3 年(2021 年)12 月 23 日

札幌市 P T A 協議会

会長 中野 吉朗 様

札幌市教育委員会

教育長 檜田 英樹

(公印省略)

令和 4 年度「札幌市文教施策に関する要望書」への回答について

師走の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市の教育行政に格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび令和 3 年 10 月 27 日付けで御提出いただきました標記の要望書につきまして、別紙のとおり御回答いたします。

札幌市PTA協議会

令和4年度「札幌市文教施策に関する要望書」に対する回答書

：所管課

要望内容	回 答
(1)学校教育に関して	
【教職員に関して】	
<p>子ども一人一人に合ったきめ細やかな指導と、教職員の負担軽減のためにも教職員の増員と加配を希望します。</p>	<p>教職員の配置については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」等の法令を標準に配置しています。</p> <p>子ども一人一人に合ったきめ細かな指導のため、少人数学級の拡大を着実に進めていくとともに、学級担任の持ちコマ数軽減による負担減に資する小学校専科指導などの加配定数の増員について、今後も様々な機会を通じて、国に要望してまいります。</p> <p>【参考情報】 小学校専科指導（英語以外）に係る加配定数の推移 R01年度：17人 R02年度：44人 R03年度：78人</p> <p style="text-align: right;">教職員課</p>
【少人数学級に関して】	
<p>少人数学級の対象となる学年の更なる引き上げを希望します。</p> <p>また、算数に一ごプロジェクトにおける習熟度別・理解度別のグループ編成を希望します。</p> <p>小学校同様に幼稚園年長児の少人数学級も検討を希望します。</p>	<p>(少人数学級)</p> <p>現在、札幌市においては、一部の学校において小学校3年生の少人数学級を試行的に実施しております。</p> <p>試行実施の効果や課題等を検証した上で、小学校全学年での少人数学級実施につなげていくとともに、国に対しても、少人数学級の更なる拡充を引き続き要望してまいります。</p> <p>(算数に一ごプロジェクト)</p> <p>算数に一ごプロジェクト事業は、個々の意見を出しやすい少人数の中で、多様な考え方に触れながら学習することにより、学ぶ意欲や思考力等を育むことをねらうものであるため、習熟度によらない25人程度のグループに編成することとしております。</p> <p>今後も引き続き、5・6年生の算数のほぼ全ての授業においてプレゼンテーション型ソフトを用いた共通教材を活用することで一層授業を充実させ、子どもの「学ぶ力」を育ててまいります。</p> <p>(幼稚園)</p> <p>市立幼稚園では、子ども一人一人に応じた指導を大切に教育活動を進めています。今後も学級の人数を含め、市立幼稚園の望ましい在り方について慎重に検討を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課、教職員課、幼児教育センター担当課</p>

【英語教育に関して】

より質の高い指導を願い、専科教員やALTの増員と小中学校の更なる連携を希望します。

英語専科指導に係る加配定数については、国からの加配定数を活用し、今年度も教員を増員してまいりました。今後も、専科指導に係る加配定数の増員について、様々な機会を通じて、国に要望してまいります。

また、子どもたちが英語でコミュニケーションを図る力を身に付けるとともに、異文化に対する理解をより深めることができるよう、ネイティブ・スピーカーであるALTを計画的に増員しているところです。

今後も、小学校及び中学校の英語担当教員等が立てた指導計画のもと、校種間の連携を推進してまいります。

【参考情報】

小学校英語専科指導に係る加配定数の推移

R01年度：25人が60校で巡回指導

R02年度：50人が115校で巡回指導

R03年度：55人が128校で巡回指導

ALTの配置計画数の推移

R01年度：120人

R02年度：123人

R03年度：126人

教育課程担当課、教職員課、教職員育成担当課

【ICT教育に関して】

電子端末(教育用コンピュータ)の活用と共に更なる情報リテラシー教育の推進を希望します。

また、電子端末(教育用コンピュータ)の活用の差が縮まるように教職員の研修の充実と子どもたちと同じように一人一台の電子端末(教育用コンピュータ)の貸与を希望します。

本市の情報教育においては、コンピューター等の情報手段を適切に用いて情報を収集・整理・比較・配信したりする力である情報活用能力を、言語能力や問題発見・解決能力と同様に学習の基盤となる資質・能力として育成してまいります。

また、学習活動におけるタブレット端末の活用を促進するため、基礎的な操作研修はもとより、採用ソフトウェアごとの研修を行っています。さらに、授業等における活用事例を学校ホームページで公開したり、市内教職員で共有したりするなどにより、教職員が授業等でタブレット端末を活用しやすい環境を、これからも推進してまいります。

なお、教職員用の電子端末の整備につきましては、今後の更なる活用推進のため必要となることから、財源の確保等、整備に向けた検討を進めてまいります。

教育政策担当課、教育課程担当課

<b>【授業、学習に関して】</b>	
<p>SDGsに係る包括的性教育の推進を希望します。</p> <p>また、一貫した教育を推進する上でも近年複雑化しているお金の仕組みについての授業や学習の推進を希望します。</p>	<p>札幌市学校教育の重点に人間尊重の教育を位置付け、互いにかげがえのない人間としての尊厳や個性、多様性を認め合い、心豊かに生きようとする態度を育む取組を推進しております。</p> <p>各学校においては、学習指導要領に基づき、社会科や家庭、技術・家庭科などの授業において、経済活動の意義について消費生活を中心に学びながら、市場経済や金融の働きなど、発達の段階を踏まえた学習を行っております。</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課</p>
<b>【教科書・教材に関して】</b>	
<p>毎年要望があがる教科書・教材の軽量化のために学校間で差異のないように教室保管教材（置き勉）の具体的なガイドライン作成を希望します。</p>	<p>教育委員会としましては、児童生徒の学びを充実させるために、学校においても、家庭においても、学習用具等が手元にあることは大変重要と考えておりますが、学習用具等の持ち運びが児童生徒に過重な負担とならないよう、発達の段階に応じて配慮することが必要と考えております。</p> <p>学習用具等の持ち運びについては、学校によって状況が異なることから、市全体として一律の対応とはしていませんが、各学校がそれぞれの実情に応じて、負担軽減の取組を進められるよう、教育委員会として取組の工夫例を示し、各学校に配慮を促しているところです。また、特に健康面での不安など、個別の相談には丁寧に対応することを学校と確認しているところです。</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課</p>
<b>【スキー学習、校外学習に関して】</b>	
<p>札幌市がスキー学習を推進するにあたり家庭での負担が大きいため、スキー学習以外のウインタースポーツにも取り組めるような見直しと対策を希望します。</p> <p>また、「さっぽろっこスキーリサイクル事業」のより一層の拡充を希望します。</p>	<p>国が定めた学習指導要領においては、スキー等の自然との関わりの深い活動について、学校や地域の実態に応じて積極的に行うことと記されており、本市においては、生涯にわたって運動を楽しみ、たくましく成長していくようスキー学習等を位置付けています。札幌のよさを生かす取組でもありますので、引き続きまして御理解と御協力をお願いいたします。</p> <p>教育委員会では、「さっぽろっこスキーリサイクル事業」を実施しており、昨年度はセットスキー572セット、単品ブーツ15足、単品ストック17本、単品板30本を市内小中高等学校に通うお子様がいるご家庭に提供するなど、スキー学習の振興と保護者の経済的負担軽減に努めているところです。</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課</p>

<b>【部活動に関して】</b>	
部活動の指導の充実と担当教職員の負担軽減のためにも、引き続き部活動指導員の拡充を希望します。	<p>本市においては、部活動の指導の充実に向けて、教職経験者や地域の人材等を、部活動指導員や特別外部指導者、外部指導者として各学校で活用しております。</p> <p>特に、顧問教諭がいなくても部活動の設立・運営ができる部活動指導員について、令和2年度に、前年までの9人から45人へ大幅に拡充したことに続き、今年度は更に10人拡充して55人を任用しております。引き続き、指導の充実や部活動数の維持に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">児童生徒担当課</p>
<b>【特別支援に関して】</b>	
支援を必要とするところへ、子どもの程度に合わせた職員の増員と適正配置を希望します。	<p>教職員の配置については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」等の法令を標準に、特別支援学級や通級による指導等において必要な教員配置をしています。</p> <p>子どもの程度に合わせた教員配置など、今後も、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">学びの支援担当課、教職員課</p>
<b>【学びのサポーター、相談支援パートナーに関して】</b>	
<p>学校や学級の状況に応じた、より効果的な配置と活動時間数の増加を希望します。</p> <p>また、進級や進学の際にも支援が途切れることの無いよう希望します。</p>	<p>(学びのサポーター)</p> <p>学びのサポーターについては、1校あたりの年間活用時間数を段階的に拡充するとともに、市立高校への配置拡大、肢体不自由のある児童生徒への身体介助を専門に行う介助アシスタントの配置など、事業の充実に努めてきました。今後も、進級時等における引継ぎなども含め、校内における効果的な連携の仕方を周知しながら、一層の充実に努めてまいります。</p> <p>(相談支援パートナー)</p> <p>相談支援パートナーの活動時間については、年2回調整を図り、有効活用しております。また、小学生の不登校が増加傾向にあることを踏まえ、昨年度から小学校にも相談支援パートナーを配置しており、今年度は20校から40校に配置校を増やしたところです。今後も未然防止や初期対応の取組を強化するため、小学校への配置拡充に努めるとともに、小・中学校における校種間連携による情報共有を図るよう働きかけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">学びの支援担当課、教育相談担当課</p>

【不登校、いじめに関して】

悩みや困りごとをいち早く把握するためにも、担任以外でも相談しやすい環境づくりや、ボランティアの方を含めて異変に気付いた際の情報共有体制の推進を希望します。

継続してより良いアンケートの実施と活用を希望します。

各学校においては、担任教諭はもとより、学年所属の教諭や養護教諭等がいつでも相談にのれる体制を整えるとともに、スクールカウンセラーの活用を進めております。

また、不登校児童生徒の支援をしている相談支援パートナーが別室において相談を受けたり、教育委員会の少年相談室や教育相談室で電話相談を受けたりするなど、様々な相談機会の充実に努めております。

アンケートについては、毎年11月に全学校で実施している「悩みやいじめに関するアンケート調査」に加え、各学校において学校独自アンケートを実施しております。アンケートの内容や実施時期等については今後も継続的に見直しを図るほか、子どもの状況をより丁寧に把握することができるよう、情報共有の在り方についても工夫・充実を進めるよう働きかけてまいります。

児童生徒担当課、教育相談担当課

【スクールカウンセラーに関して】

カウンセラーとの面談希望が増加しているため、予約が取りにくいので相談システムや予約方法の早期改善を機望します。

また、学校とカウンセラーの連携の仕組みなど、わかりやすい情報発信を希望します。

一部の学校においては、予約が取りにくい状況があることを把握しております。そうした状況を踏まえ、スクールカウンセラーとの面談等が早期に実現するよう、より効率のよい予約方法や面談計画の在り方等について検討してまいります。

また、学校HPや学校便り、スクールカウンセラー便り等を通じ、スクールカウンセラーの活用を含めた、学校における教育相談体制に係る情報発信を充実するよう、教育委員会としても働きかけてまいります。

児童生徒担当課

【子どもの居場所づくりに関して】

全小学校へのミニ児童会館設置の早期実現を希望します。また、ミニ児童会館は学校内にあるので学校と子ども未来局との更なる連携を希望します。

不登校の児童や生徒が足を運べる別教室の環境整備を希望します。

児童会館・ミニ児童会館については、1小学校区に1館整備を行っており、特認校を除くすべての小学校区に整備してまいりました。新たにミニ児童会館を設置する予定はございませんが、現在、学校の改築等に併せて、学校に併設する児童会館として再整備を進めており、再整備後は、ミニ児童会館よりも専用スペースが広く、設備も充実する予定です。

学校と子ども未来局との連携に関しましては、現在も活動室以外の教室の借用等を行っており、今後についても引き続き連携、協力のもと、運営を行ってまいります。

また、不登校児童生徒の対応については、現在、学校改築時等には教育相談室を標準整備しております。引き続き、子どもの居場所づくりに関して環境整備に努めてまいります。

子ども未来局放課後児童担当課、学校施設課

【学校運営に関して】

行事の実施についてガイドライン及び地域の実情に則して判断していると思いが児童や生徒が納得できるよう判断基準の周知を希望します。

教育委員会としましては、児童生徒の学びを充実させるために、学校行事の実施は大変重要と考えております。コロナ禍において、ガイドラインを基に必要な感染症対策を講じることや実施時期を再検討し可能な限り延期しての実施等を学校にお伝えしておりました。

実施の判断につきましては、学校の規模・環境や児童生徒数に応じて行うことがあり、一律の基準を示すことが難しい場合もありますが、十分な検討をした上で、規模縮小や中止の判断をする場合は、保護者への丁寧な説明と児童生徒の心情に配慮した指導を徹底するよう、引き続き努めてまいります。

教育課程担当課

【学校環境、保健衛生、学校設備に関して】

札幌市の教育現場における暑さ対策としてエアコン設置の推進やより有用性の高い換気対策として可視化（教室に二酸化炭素濃度測定器の導入）を希望します。

洋式トイレの改修、設置、増設及びジェンダーフリーに対応できる多目的トイレの設置や更衣室の設置を希望します。

暑さ対策については、昨年度より移動式エアコン等の購入に係る予算を学校に配分しており、各学校では、それぞれの状況に応じて、普通教室や保健室等に移動式エアコンや窓用エアコン等の設置を進めております。

また、二酸化炭素濃度測定器の導入など新型コロナウイルス感染症対策は、学校に配分した予算をもとに各学校の実情に応じて実施しております。今後も、いただいたご要望も参考に対応してまいります。

洋式トイレの整備については、児童生徒数に応じた必要数を満たすよう洋式トイレの整備（改修、設置、増設）を進めているところです。現時点の計画では、令和5年度末に全ての学校で整備が完了する予定です。ジェンダーフリーへの対応を含めて、誰もが快適に過ごせる施設となるよう、引き続き検討してまいります。

学校施設課、保健給食課

【学校安全に関して】

自然災害や害獣対応及び対策について、各学校が迅速かつ適切な対応力を高め子どもたちの安全を確保できるようガイドラインの作成を早急に希望します。

自然災害を含む子どもの安全確保については、各園・学校において、策定している学校安全計画と危機管理マニュアルを踏まえ、子どもが危険から自ら身を守ろうとする資質・能力の育成を図っているところです。

また、ヒグマやシカ等の出没に係る対応については、関係機関と連携し、各園・学校において、状況を踏まえながら、子どもの安全確保に努めております。特にヒグマについては、各園・学校においていち早く状況を把握できるよう、環境局が管理する「くまメール」への加入を呼びかけるとともに、園・学校における初期対応の概要をまとめた資料を作成し、各園・学校長へ提供しています。

これらの対策により、各園・学校が情報を正確に把握するとともに、迅速・的確に子どもの安全を確保できるようにしているところです。

教育課程担当課

<b>【幼稚園に関して】</b>	
<p>預かり保育士の確実な人員確保と昨今の共働き世帯増加に伴い、より安心して預けられる体制づくりと利用料金の再考を希望します。</p> <p>また、満3歳児保育の導入を希望します。札幌市立幼稚園の更なる広報の強化を希望します。</p>	<p>預かり保育士については、各園の利用状況に応じ、1～2名配置しております。令和2年度から会計年度任用職員制度が導入されたことにより、同一園で複数年更新できるようになり、現在保育士の欠員はありませんが、今後も保育士の確保に努めてまいります。料金設定については、現在1日単価としています。利用時間による料金とした場合、預かり保育を推進するための事業費に関連し、保育士の確保にも影響することから、慎重に検討してまいります。</p> <p>満3歳児保育については、施設的环境や教員の配置及び園則などに関することから、慎重に検討してまいります。</p> <p>また、市立幼稚園の広報については、今年度から札幌市のラインアカウントの活用を始め、園のホームページとの連携を図ることにより、子育ての支援に関する情報発信や園の教育活動について発信しているところです。今後も広く市民の皆様へ伝わるよう、より効果的な発信に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課</p>
<b>(2) 予算に関して</b>	
<b>【教育関連予算に関して】</b>	
<p>教育活動が円滑に行われるためにも新型コロナウイルス感染症対策に係る経費を含め、引き続き各関連予算の維持、増額を希望します。</p>	<p>依然として厳しい財政状況ではありますが、教育委員会といたしましても、新型コロナウイルス感染症対策経費も含め、これまで以上に充実した教育環境の実現を目指し、今後とも必要な予算の確保に向け、関係機関に働きかけを行ってまいります。</p> <p>その際には、貴協議会や教育現場等からのご意見を反映させたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">総務課</p>
<b>【読書活動推進事業に関して】</b>	
<p>読書環境整備など読書推進事業に係る予算の維持、増額を希望します。</p>	<p>図書購入費については、現状の予算を維持しております。今後も、子どもたちの読書活動が活発なものとなるよう、必要な予算の確保に努めてまいります。</p> <p>また、PTAを中心に地域の皆様へ運営に携わっていただく学校図書館地域開放事業においては、図書購入費など必要な経費を委託料に含んでおり、児童生徒の読書環境の充実に活用いただいております。事業の継続、実施校の拡大のため、札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019に事業を位置づけ、必要な予算の維持、確保に努めております。</p> <p style="text-align: right;">学校施設課、生涯学習推進課</p>

【PTA活動に関して】

引き続き、PTA活動の予算につきましても基盤維持、強化に向け変わらぬ助成を希望いたします。

厳しい財政状況のもと、団体補助金については全庁的に廃止、終了年度の設定などの見直しが求められているところです。

一方、貴協議会が行う学校・家庭・地域等との連携による諸事業は、本市の社会教育の振興に大きく寄与するものと認識しております。今後も、これらの事業に対する支援を継続できるよう関係機関に働きかけてまいります。

生涯学習推進課